

令和4年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 学校名 立川市立第五小学校

2. 令和4年度 学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

立川市民科の取組の効果	・地域に住む様々な立場の方々と関わることで、より広い世界に目を向ける視野を広げていく意識が高まり、主体的・探究的な学習活動を実施することができた。 ・取組の成果を学校内にとどめず、学習発表会等を通して保護者や地域に向けて発信することで、児童が自分事として捉えて学習することができた。
立川市民科の取組の課題	・協力してくださる町の方々の諸事情を含め、学校側も持続可能な方法を探していかなければ、関係性が途切れてしまう恐れもある。 ・市民科の学びを通して育みたい資質能力について、学校全体で6年間を見通した指導計画を確立していく必要がある。

3. 令和4年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

（割合）

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思 わない	思わない	わからない
39.8%	31%	3.7%	0.8%	19.3%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

（割合）

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思 わない	思わない	わからない
28.9%	41.4%	2.6%	0.4%	26.7%